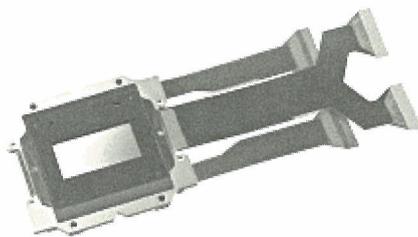




ソニー株式会社は、第58回大河内記念生産賞を「超高精細反射型ディスプレイデバイスの開発」(写真左)と「4Kデジタルシネマ投影機の実用化」(写真右)で受賞したことを、2月10日に発表した。

この賞は、日本の工業の発展に最も重要なものは生産工学であるという故大河内正敏博士の意志を受け継いだもので、博士の功績を記念して1954年に設立された財団法人大河内記念会が、毎年、理工系大学、研究機関、学協会、産業団体、企業など各方面からの推薦に基づき、生産工学、生産技術の研究開発および高度生産方式の実施などに関する顕著な功績に対して贈呈している。

ソニーの受賞は、4K (4096×2160) の可能性にいち早く着目し、世界に先駆けてソニー独自の4KのSXRD (反射型液晶ディスプレイデバイス) を開発し、映画館用の4Kプロジェクター製品に展開するとともに、その量産化を実現して世界



に広く普及させたことが評価された。

ソニーは、これからも4Kをはじめとした映像、音響にかかわる技術開発を続け、映画のみならず産業の発展に貢献する製品やサービスの提供に努めていくとした。

ほかに、富士フィルム株式会社が大河内記念賞を、液晶ディスプレイに不可欠な偏光板保護フィルム「フジタック」で受賞している。

CATV技術者資格「エキスパート資格」 技術科目試験が実施

～第2級CATV技術者資格講習試験の準備が開始される～

齋藤六郎

(社)日本CATV技術協会 事業部(技術者育成)部長*

(社)日本CATV技術協会(理事長:安藤 彰)は、2月12日(日)に支部が所在する全国主要都市において一斉にエキスパート資格の専門科目試験を実施しました。

当日は2,100名を超える受験者がありましたが、トラブルもなく終了することができました。科目別の問題と正答は既にホームページにアップされ、閲覧可能となっています。今

後、外部の有識者で構成されるCATV技術資格認定委員会の審査を経て、3月16日に合格者が発表されることになっています(科目別に合格者の受験番号のみをホームページに掲載します)。

新資格制度には、もう一つの柱である第2級CATV技術

者資格があります。これはCATV技術者資格のエントリーレベルに位置付けられ、ケーブルテレビに関わる技術者の裾野の拡大を目指すもので、ケーブルテレビの基礎技術をマスターしたい方、ケーブルテレビ事業者・関係会社のコールセンター業務や営業業務に従事している方、さらには、これからケーブルテレビ業界への就職を考えている学生の皆様にも挑戦いただきたいと考えています。概要を次に示します。

◇第2級CATV技術者資格講習試験について

- 申込受付開始：平成24年5月7日(月)から5月18日(金)
- 申込方法：WEB申込が原則となります。
- 講習試験の時期：平成24年7月～8月に支部が所在する都市等で開催予定。
- 講習試験の方法：講習と試験を2日間の全国8コースで行います(1日目は技術科目講習、2日目は法規科目講習とそれぞれの科目の試験を実施)。技術科目は、ケーブルテレビのシステムからブロードバンドまで基本的な事項を学習します。法規科目は放送法でケーブルテレビに関連する規

定を学習します。

◇旧有線テレビジョン放送技術者からの移行について

- 第2級有線テレビジョン放送技術者資格を保有する方が第2級CATV技術者に移行するための手続を用意します。第2級CATV技術者に移行することで、来年1月のブロードバンド科目等のエキスパート試験を受験する近道となります。
- 申込受付開始および申込方法は、第2級CATV技術者資格講習試験と同じ時期に行います。
 - 技術科目および法規科目について1日コースの移行講習会を6月～7月に支部が所在する都市等で開催します。

詳細については、順次当協会のホームページに掲載していきます。

<http://www.catv.or.jp>

お問い合わせは下記で行っています。

社団法人日本CATV技術協会
資格制度専用電話：03-5155-6282(平日9:30～17:00)

企業戦略としての CATV技術者資格取得



今後強化する法人営業担当者は1級取得が必要 コールセンターや個人営業マンの取得も推進



塩治憲司
(株)シー・ティー・ワイ
代表取締役社長 兼 COO

CTY(本社：三重県四日市市)はこれまで旧資格の有線テレビジョン放送技術者資格1級の社員が取得する取り組みを行ってきた。現在、技術部門だけでなく営業部門、企画部門の社員にも取得者が広がっている。新資格のCATV技術者資格の取得もさらに注力する。同社はコールセンターにCRMを導入し、技術サポートや営業も連携したワンストップサービスの強化を進めており、今後はコールセンターや営業マンのCATV技術者資格取得にも力を入れる。同社の塩治憲司・代表取締役社長兼COOに聞いた。

(取材・構成：渡辺 元・本誌編集部)

旧資格時代から新入社員は必ず受験

CTYは旧資格の有線テレビジョン放送技術者資格1級の取得を社員に奨励してきました。当社は毎年、地元の工業高校から2名の新卒社員を採用しています。その他にも理工系大学の卒業採用や中途採用も行っています。技術部門を志望する新入社員には毎年必ず同資格を受験させてきました。営業志望の社員でも1級の取得を希望するものにはチャレンジさせてきました。社員の受験・講習の費用は会社が負担するという

奨励金制度を設けていました。奨励金を出す受験回数には制限がありますが、当社の新入社員の多くは1級試験に初回で合格しました。

その結果、現在20人の社員が同資格を取得しています。内訳は技術部門の社員が13人、営業系が5人、企画系が2人です。

社員の資格取得を推進してきた理由

同資格は国家資格ではありません。それでも社員に取得を奨励してきたのは、次の理由からです。